

平成29年度つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目	H29目標値 (A)	H29目標 (%)	H23実績値 (基準年度)	H28実績値 (前年度)	H29実績値 (B)	H29実績 (%)	達成状況 (達成率A/B)	増減の主な要因
CO2排出量(t)	34,986	△ 7.0	37,619	47,455	52,673	40.0	× (66.4%)	プラスチックごみの増加によるCO2排出量の増加、電力使用量・排出係数の増加の影響が大きい。 ※一般廃棄物の処理による排出(プラスチック焼却分等)含む。
CO2排出量(t) (一般廃棄物の処理による排出を除く)	11,280	△ 4.4	11,799	14,950	14,995	27.1	× (75.2%)	CO2排出内訳の約65%は電力によるもので、使用量の増加、排出係数の上昇の影響が大きい。 ※上記の目標のうち、エネルギー使用による排出量(一般廃棄物の処理による排出を除く。)
電気使用量(kWh)	16,431,753	△ 5.0	17,296,582	19,076,636	20,869,542	20.7	× (78.7%)	規模の大きい給食センターでの使用量増加、小学校の新設や空調の導入による使用量増加の影響が大きい。また、一時的にクリーンセンターの発電設備が停止した影響も大きい。 ※施設の改廃を除くと、基準年比0.5%減。
コピー用紙購入量(枚)	27,196,525	0.0	27,196,525	32,122,405	33,688,534.0	23.9	× (80.7%)	裏紙利用や両面印刷、2in1印刷、データの電子化、電子会議等を推進しているが、浸透していない。全庁的に継続的な改革が必要である。
水使用量(m ³)	518,366	0.0	518,366	440,299	433,079.6	△ 16.5	○ (119.7%)	小学校や中学校での削減の影響が大きい。なお、本庁舎などでは増加した。多くの施設で減少傾向にある。
ガソリン購入量(L)	207,802	△ 5.0	218,739	198,430	188,387	△ 13.9	○ (110.3%)	公用車の走行距離を約15%削減することができたこと、次世代型車両の購入によって、燃費の向上が図られた。なお、市民サービスの拡充等により出先機関の使用量は増加傾向にある。
軽油購入量(L)	71,776	△ 5.0	75,554	76,928	85,436	13.1	× (84.0%)	BDF使用予定の車両での軽油使用が増加の大きな要因である。前年度比では、福祉支援センターくさぎきのバスが廃車となり、ワゴン車(ガソリン)に変更となったため、大幅な削減があったが、消防本部や幼稚園の大型車両で増加があったため、ほぼ横ばいである。
A重油購入量(L)	134,170	0.0	134,170	66,000	66,045	△ 50.8	○ (203.1%)	エネルギー転換によって大幅に削減されたが、前年度と比較すると経済部の出先機関や給食センターで削減された一方で、配水施設での購入量が増加した。別の燃料への転換を進めたい。
灯油購入量(L)	484,031	△ 5.0	509,506	481,558	451,779	△ 11.3	○ (107.1%)	エネルギー転換によって減少しているが、前年度と比較すると規模の大きいクリーンセンターや支援センター、窓口センターなどで増加している。
都市ガス使用量(m ³)	530,170	0.0	530,170	780,284	787,454	48.5	× (67.3%)	エネルギー転換によって使用量は増加している。主に小学校への都市ガスの空調導入、給食センター、消防庁舎の新設で増加している。
プロパンガス使用量(kg)	41,185	△ 5.0	43,352	39,918	41,114	△ 5.2	○ (100.2%)	給食センターでの都市ガスへの転換により削減となっているが、保育所での使用は増加している。
熱使用量(MJ)	1,866,030	△ 5.0	1,964,243	2,071,187	2,132,678	8.6	× (87.5%)	地域で使用しているため、各施設の努力が反映されにくく、削減が難しい。

※電気使用量は、クリーンセンターが使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量を除いて算出。